

育英通信

2017年
第7号
前橋育英高等学校 企画運営部

全国4174校 夢の舞台・埼玉スタジアムで
攻めて、守って、励ましあって成長した。



第95回全国高等学校サッカー選手権大会

準優勝

1回戦

2016年12月31日(土) フクダ電子アリーナ
vs 明德義塾(高知) 3-0で圧勝



2回戦

2017年1月2日(月・祝) フクダ電子アリーナ
vs 市立船橋(千葉) 0-0 PK5-3 インターハイ
チャンピオン撃破



3回戦

2017年1月3日(火) フクダ電子アリーナ
vs 遠野(岩手) 1-0 粘る相手に苦しみか0封



準々決勝

2017年1月5日(木) フクダ電子アリーナ
vs 滝川第二(兵庫) 2-0 相手自慢の攻撃も
シャットアウト



準決勝

いざ
埼玉スタ!

2017年1月7日(土)
埼玉スタジアム2002(全校応援)
vs 佐野日大(栃木) 1-0
守る相手に苦戦するも
総合力で勝利



決勝

悲願達成へ
チーム一丸

2017年1月9日(月・祝)
埼玉スタジアム2002(全校応援)
vs 青森山田(青森) 0-5
前半の好機に相手キーパーの好セーブに阻まれ、
逆に少ない相手のチャンスに決められて流れを
失い、初優勝の夢は破れた。



高校生はしばしば大人の物差しでは計れない、信じられない成長をすることがある。勉強でもスポーツでも。一方、小学校・中学校と順調に成長し結果を出していた者が、初めて大きな壁に当たるのも高校生。今年のサッカー部が全国の決勝に駒を進める事を、周囲の誰が予想しただろうか。県高校総体、インターハイ予選、そして選手権の予選でもまだ圧倒的な強さは見られなかった。しかしサッカー部員は諦めなかった。サッカー部指導陣も諦めなかった。「君たちならできる、必ずできる」と。そして話し合い、時にぶつかり合いながら成長を始めた。動き出した大きな岩がやがて勢いよく転がりだし、もの凄い威力を持つように。12月31日、2016年最後の日ぎりぎりだけ間に合った。「これが前橋育英だ」。全国大会準優勝は素晴らしい。諦めず日本一を追いかけ成長した姿は本当に素晴らしい。(A記)

インターハイ群馬県予選1回戦、必死に食い下がる相手校に対し、攻めても守っても前橋育英らしさは発揮されず、PK戦で敗退した。しかしこの悔しさから逆襲が始まった。前橋育英の誇りを胸に、何としても勝つために練習を積み重ねてきた。「日本一になるために」「弱い自分に勝つために」。そして今回一番長い冬一決勝戦まで来ることができた。

全校での応援ありがとう。「苦しい時はスタンドを見ろ」と言ってきた。しかし残念ながら日本一は取れなかった。部員達はこの悔しさを忘れず、これからもサッカーを一生懸命頑張り、前橋育英のプライドを持って人生に立ち向かって欲しい。(監督 山田耕介)

平成28年度 第25回全日本高校女子サッカー選手権大会

【1回戦】12月30日(金)
神戸ユニバー補助競技場(兵庫県神戸市)
対戦相手 島原商業(長崎)
5-0で勝利



【2回戦】12月31日(土)
三木総合防災公園陸上競技場(兵庫県三木市)
対戦相手 大商学園(大阪)
1-8で敗退



ベスト
16

第40回群馬県高等学校芸術祭 「美術・工芸部門展」 優良賞を受賞

滝沢 奈己さん(2-3)
第67回群馬県美術展覧会に
おいても入選しました。



ウインターカップ2016 平成28年度 第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

12月24日(土) 東京体育館Cコート
対戦相手 県立豊浦(山口)

1P 16-14
2P 13-13
3P 8-15
4P 9-11
46-53で敗退

応援ありがとう
ございました。



平成28年度 第36回関東選抜高校テニス大会 兼全国選抜高校テニス大会関東地区大会

12月24日(土)~26日(月) サニーコート・アプロコーストテニスクラブ他(千葉県白子町)

【1回戦】対戦相手 山村学園(埼玉) 0-5で敗退
【7・8位決定戦】対戦相手 東京学館船橋(千葉) 1-4で敗退
【13・14位決定戦】対戦相手 甲府城西(山梨) 5-0で勝利
対戦相手 茨城キリスト(茨城) 3-2で勝利

13位

第32回関東高校ウエイトリフティング競技選抜大会

1月14日(土) さいたま市記念総合体育館
48kg級 原 沙織(1-5) スナッチ失格 クリーン&ジャーク70kg 1位
58kg級 野口 明音(2-7) スナッチ59kg クリーン&ジャーク68kg トータル127kg 3位